

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あい・すまいる		
○保護者評価実施期間	令和 7年 4月 1日		～ 令和 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和 7年 4月 1日		～ 令和 8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・屋内に、活動スペース、学習部屋、スヌーズレンルームがあり、屋外には人工芝のスペース、大型トランポリンや平均台があるなど豊富な活動スペースがある。	・屋外スペースでは夏は大型プールを設置して毎回利用者が思い切り水遊びができる。 ・スヌーズレンルームでは真っ暗な部屋が作れ、ブラックライトも活用して光の演出など違った雰囲気を楽しめる部屋となっている。	・多種多様な活動スペースとその特徴を活かして、今後も活動内容を膨らませていき、利用者へ様々な体験を提供していきたい。
2	・利用者の「やりたい」に応えられる支援。	・ダンボール工作がしたい、パソコンで絵をプリントアウトしたい、いきものを捕まえに行きたい、自転車に乗りたいなど利用者一人ひとりの声を大事にして可能な限り実現ができるように支援を心掛けている。そのやりたいという気持ちを引き出すことによって自己肯定感や行動意欲の向上につながっていると感じる。	・今後できる限り、利用者一人ひとりの想いを汲み取る意思決定支援を行っていき、またそれと同時に、順番を守ることやルールを守ること、公共のものを大事に扱うなどの社会性を身につける支援も合わせて行っていきたい。
3	・保護者の悩みに迅速に対応する。	・保護者からの意見や悩み事に関してすぐに対応できるように関係機関と連絡を取り合い、情報収集を行って対応している。 ・帰りの送迎時には学校からの申し送りからデイでの出来事などお伝えしている。また体調の変化など細かな気づきもお伝えしている。	・今後も利用者の体調面や情緒面の変化を注視しながら支援を行っていき、その様子を丁寧に保護者へ伝えていきたい。また保護者の悩み事も伝えやすいような関係づくりに努めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会がありません。	・放課後児童クラブとの接点がない。 ・学童と関わることは難しい。 ・今回の保護者評価より「必要に感じない。」「子供会で交流が出来ている。」という話が出た。	・施設として、地域のイベントや公園へ出向き、そこで地域の人と関われる機会を作れているように感じているので今後もそのような機会を設けられるように努めていきたい。
2	・職員の情報共有ができていないことがある。	・昨年度よりも共有する書類の見落とし等連絡事項の共有は減ってきているがまだ伝達しきれないこともあった。	・日頃のミーティングなど伝達の機会をしっかりととる。また伝え漏れがないように回覧用の資料を作成するなど確実に情報共有ができるようにしていく。
3			